

馬毛島問題に係る各種団体等との意見を聞く会での意見概要

日：令和4年1月17日～21日、25日

参加団体：51団体（31回）

通知団体：99団体

[基地化への期待・要望]

* 交付金による恩恵

- ⇒ 公共サービスの充実
 - 医療・福祉・介護
(看護師不足対策 [看護学校設立]、コロナ対策、医療現場への支援)
 - 教育・子育て支援
(社会教育団体への運営補助の増額、島外へのスポーツ遠征の助成、旧榕城中跡地への教育・福祉・子育て複合施設の新設)

- ⇒ 公共料金等の値下げ
(医療費無償化、水道料値下げ、国民健康保険及び介護保険料の引き下げ、介護施設利用料の支援、市税の引き下げ [※市税の引き下げは困難な旨回答]、高速船料金の助成)

- ⇒ 公共施設等の新設・改修
 - 道路新設及び改修
(悪路改修、通学路の歩道整備、街路灯・防犯カメラ設置)
 - 施設新設及び改修
(市営グラウンド改修 [全天候化]、テニスコート [増設]、体育館 [空調・器具類充実]、武道館 [新設]、市営プール [室内+温水化]、各種競技用具の充実、コミュニティー施設、公園等 [遊具類改修・充実]、下水道整備 [西町・東町]、市外からの高校生の寮 [高校の定員確保] 等)
 - その他整備 (市街地整備、コンパクトシティー、シェアオフィス、ネットワーク5G等)

- ⇒ 産業への助成
 - 農業
(新規・後継者育成、スマート農業化への助成、飼料・資材費助成、海上運賃助成、自然災害への対応、人手不足改善、青果市場への支援、高収益品目への転換、施設及び機械整備に係る補助事業)
 - 漁業
(西之表港整備 [育てる漁業への転換]、加工施設・冷凍施設の整備、船揚げ場の整備 [斜路の整備]、浄化施設の整備、新規・後継者育成、漁礁投入、輸送コスト助成 [発泡スチロールへの助成]、船及び機関整備への補助、漁具購入への補助、磯焼け対応 [大学・研究機関

等との連携強化]、出荷魚の付加価値向上 [モジャコのワクチン接種]、島内での消費拡大活動、ニーズに対応した出荷体制の確立、漁業補償への期待)

→ 森林業

(木質発電、西之表港整備、施設及び機械整備に係る補助事業)

→ 商工業

(雇用対策 [省人化に特化した事業]、新規・後継者育成、西之表港整備 [ヤードスペース])

→ 観光業

(防衛省への特産品販売、基地関連イベントによる集客)

* 隊員宿舎設置による恩恵

⇒ 人口増 (大字活性化、隊員の子供の増加による学校の存続)

⇒ 経済の活性化 (地場製品の消費拡大、税収の増、隊員家族による雇用創出)

⇒ 隊員の地域貢献 (地域行事への参加、スポーツ活動への参加 [県下一周駅伝等])

* 馬毛島 (種子島) への自衛隊基地設置に係る恩恵

⇒ 救急搬送及び災害時の速やかな対応

⇒ 基地交付金による財源創出 (馬毛島の基地に係る固定資産税代替分)

⇒ 基地活動に伴う経済の活性化 (働く場所の確保、新規工事発注)

⇒ 整備工事による経済の活性化

* 国防・安全保障への貢献

⇒ 国を守るための施設

⇒ 沖縄の負担軽減

⇒ 日米合意の重さ

[基地化への不安・不満]

* 市民の分断

⇒ 種子島島内の分断も懸念 (種子島 1 市 2 町の首長による協議をすべき。)

⇒ これ以上、分断が進まないよう市が中心となり対応すべきでは。

* 軍事施設による心理的負担

⇒ 平和的思想、戦争への加担、軍事施設への恐怖

* 基地関連交付金への依存

⇒ 基地経済への依存体質の懸念 (自活への思考停止)

* 水産業への影響

- ⇒ 馬毛島周辺での漁場の喪失
- ⇒ 港整備に伴う漁獲量の減少
- ⇒ 調査や工事による海への影響（土砂流出による漁獲量の減少）
- ⇒ 漁業補償も少額

* 経済への影響

- ⇒ JAXA 撤退の懸念
- ⇒ 移住者減少

* 自然環境への影響

- ⇒ 戦闘機による大気汚染
- ⇒ 工事による海洋汚染
- ⇒ 港整備による海流の変化
- ⇒ 環境アセスメントの結果は反映されないのか。

* 騒音

- ⇒ 日常生活や睡眠への影響
- ⇒ 種子島上空での飛行の懸念
- ⇒ 畜産への影響（※影響なしとの意見もある）

* 治安

- ⇒ 基地関係者のトラブル懸念
- ⇒ 反対勢力の移入（反社会勢力も含む）
- ⇒ 米軍への不安（自衛隊は良いが米軍は不安）

* 安心・安全

- ⇒ 軍用機による事故
- ⇒ テロの標的
- ⇒ 地位協定の存在

[その他意見]

- * 団体の会合で馬毛島問題の話題はしないようにしている。（数団体）
- * 予算も閣議決定され、候補地から整備地に決定されたことについて
 - ⇒ 市長はどのような対応をするのか。賛否の決断をするのか。
 - ⇒ 国の決定に負けず反対を貫いてほしい。
 - ⇒ 馬毛島への基地整備ではなくコロナに予算を使うべきでは。
 - ⇒ 西之表市が国の決定を覆せるのか、本当に基地ができないと思うのか。早めに決断をすべき。

- ⇒ 再編交付金や宿舎の問題もあり、住民の混乱を招かないためにも現実的対応が必要ではないか。
- * 馬毛島は西之表市の管内地であるのに、西之表市には恩恵がない。
 - ⇒ 過去のロケットや飛行場、馬毛島の石油備蓄基地のように反対ばかりしては何も残らない。
 - ⇒ 旧空港で自衛隊訓練や FCLP を実施していただきたい。
- * 市及び防衛省の住民への説明不足
 - ⇒ メリット・デメリットなどの判断に係る情報を提供していない。(交付金の情報が知りたい)
 - ⇒ 市長は中立の立場で情報提供すべきである。
- * 旧馬毛島小中学校及び市道の対応
 - ⇒ ほとんどが国有地で馬毛島活用も難しいのでは。
- * 基地関連交付金に頼らない産業振興というが、市の財源不足が解消されていない。
 - ⇒ 市が具体策を示さず不信感しかない。
 - ⇒ 国交省や農水省等の交付金等は活用するのに、防衛省の交付金等を不可とする理由が不明
 - ⇒ 財源もないのに事業ができるはずもない。(市民に負担を押し付けすぎ、交付金をいらないとする団体があるのか)